

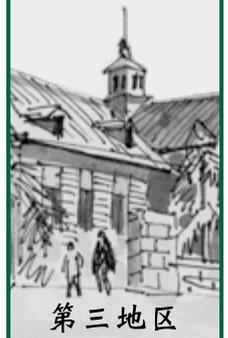
第16回 第三地区あがたの森夏まつり



第16回あがたの森夏まつりが8月7日(日)にあがたの森公園正面通路で開催されました。
暑い中でしたが、最後まで威勢のいい声が飛び交う活気あるお祭りとなりました。



あがたの森



第三地区

第三地区町内のお祭り

四ツ谷東の元気まつり
同じく7月31日にあがたの森内で行われた元気まつりです。子どもたちの元気な声が上がっていました。



幸町の金魚すくい
7月31日に埋橋集会場にて行われた幸町の金魚すくいの様子です。子どもたちにとっては、夏休みの楽しい思い出になりました。

第三地区福祉ひろばまつり



今年もたくさんの方々にご参加いただき、2日間の日程で開催されました。サークル発表やパフォーマンス、恒例のカラオケ大会等で大盛況のうち幕を閉じたお祭りでした。





あがたの森未来サミット

あがたの森未来サミットとは、あがたの森周辺の小中高校とあがた児童センターの子どもたちで結成される団体です。平成24年度に結成され、朝のあいさつ運動などの活動をみんなで協力しながらやっています。

写真は8月に行われた会議の様子です。何か新しい活動ができないか、子どもたちを主体に活発な話し合いが展開された結果、10月1日(土)に行われる第三地区体育委員会主催の世代間交流スポーツ講座に、サミットとして参加することが決まりました。

イオンモール建設始まる

8月3日に(仮称)イオンモール東松本の起工式が行われ、第三地区からは、町会連合会会長の田中さんをはじめとする4名が招待され参加してきました。工事の安全祈願の祭事の後に、イオンモール専務の岩本馨氏から「このイオンモールは松本のまちの歴史と自然を生かして回遊性を考慮したものを目指している」とのお話があり、地元第三地区を大切にされた開発をしていく姿勢も感じられました。当日新しいイオンモールのイメージ図のマスコミ発表もありました。白黒を基調とした松本城、なまこ壁、松本てまりをイメージしたデザインだそうで今までにないイオンモールの建物デザインとなりそうです。来年の9月完成を目指して、急ピッチで工事が行われています。今までも住民から公民館に上がってきた声については、早急に真摯に対応をしていただいており、特に街灯については多数つけていただいたお陰で明るくなり助かっています。今後何かお気づきの点がある方は、第三地区公民館(☎3617040)までご連絡ください。



第三地区の若い力!



県町南
小岩井 美佳さん

年齢 24歳 / 職業 会社員

Q1 仕事について今思うことは?

日々新しいことを経験するので、毎日が勉強だと強く感じます。

Q2 仕事でやりがいを感じる事は?

電話対応や来客対応をする中で、お客様に感謝していただけることです。

Q3 自分の住むまち、第三地区についてどう思いますか?

これからさらに進化をしていくと思うので、どうなっていくか楽しみです。

Q4 どうして地元で就職したんですか?

生まれ育った場所で働きたいと考えていたからです。これは東京の大学に入るときには決めていました。

Q5 今一番関心があることはなんですか?

甥っ子と姪っ子と遊んだり世話をしたりするのが楽しいので、どんなことをすれば喜んでくれるかと考えています。



今から6年前、既にカタクラモール再開発の噂は聞こえてきていて公民館報の取材を試みました。しかし、取材拒否にあり、なんの情報も得られず八方塞がりの中、私は平成24年6月から公民館で「まちづくり講座」を受講しました。それが、片倉工業(株)に「カタクラモールの再開発に地元住民の声を聞いてください」と訴えるきっかけになりました。あれから5年。先日イオンモールの起工式に参列しながら「あの時こんな場に自分が立っていることなど想像できなかったな」など様々な思いが頭の中をめぐりました。当初周りからは「そんなこと大企業に言っても無駄だよ」と言われました。でも、今こうして私たち住民の声を考慮したイオンモールが建設されようとしています。イオンモール側からいふに早くから住民と話をしつくるモールは初めてだと言われています。そして今、住民の声を挙げることで、拾うことの大切さを感じています。自分たちのまちは自分たちでつくるのです。未来の子供たちのために。

(降旗 都子)